

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2019-37543(P2019-37543A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-162187(P2017-162187)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月24日(2020.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が前面を流下する遊技板と、  
前記遊技板を貫通する表示開口と、

前記表示開口に嵌め込まれて、前記表示開口への遊技球の進入を規制する装飾枠と、  
前記表示開口の内側に配置されて、遊技状況に応じた動画を用いた動画表示演出を行う  
第1表示部と、を有する遊技機において、

前記装飾枠に固定されて前記表示開口内に配置され、遊技状況に応じた静止画を用いた  
静止画表示演出を行う第2表示部を備える遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、この種の遊技機として、遊技状態に応じて表示演出を行うものが知られている(例え  
ば、特許文献1参照)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、従来の表示演出に対して更なる趣向性の向上が求められていた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、表示演出の趣向性の向上が図られる遊技機の提供を目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するためになされた請求項1の発明は、遊技球が前面を流下する遊技板と、前記遊技板を貫通する表示開口と、前記表示開口に嵌め込まれて、前記表示開口への遊技球の進入を規制する装飾枠と、前記表示開口の内側に配置されて、遊技状況に応じた動画を用いた動画表示演出を行う第1表示部と、を有する遊技機において、前記装飾枠に固定されて前記表示開口内に配置され、遊技状況に応じた静止画を用いた静止画表示演出を行う第2表示部を備える遊技機である。